

### ① ごろうもん だんこん 御楼門と弾痕

発掘調査により土を除去した箇所は、御楼門再建に向けて、現代工法を用いずに古来からの工法で土を締め、より強い地盤になるように施工しました。確認された石垣の銃弾・砲弾痕は西南戦争の激戦を物語る重要な遺構です。石垣の破損箇所については銃弾・砲弾痕を後世へ残すために最低限の整備を行いました。



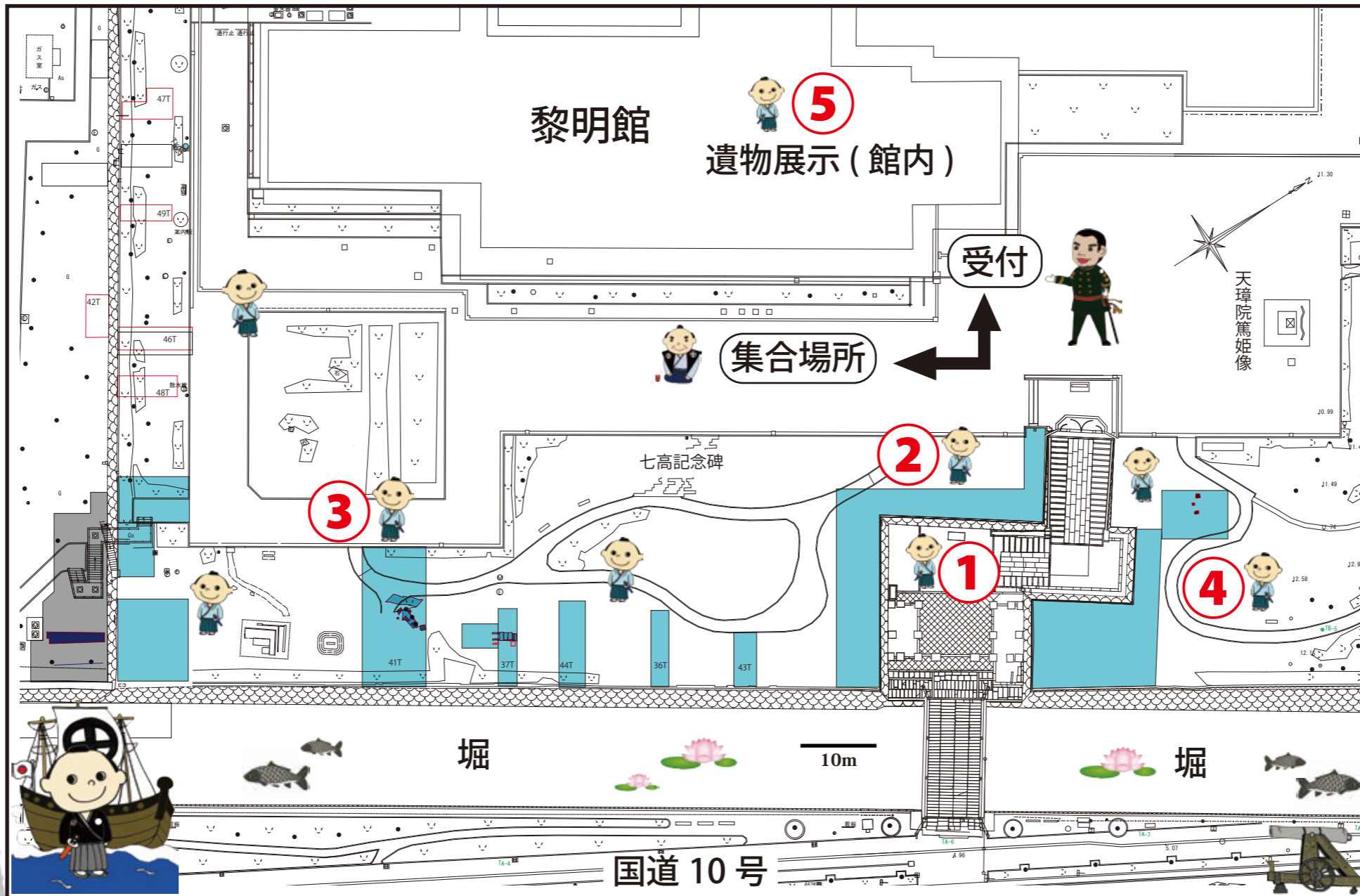
### ② はいすいこう いしがきうらご 排水溝と石垣裏込め

発掘調査で確認された排水溝と石垣は、埋め戻した後に新しい石材で復元整備を実施しました。また、江戸時代の排水溝の付け替えや近代以降に土管を排水溝に据え付けた痕跡などが確認され、長い間排水施設として利用された事がわかりました。石垣の背面には拳大の礫が充填された裏込め石が確認されました。



## 鹿児島（鶴丸）城の歴史

西暦	和暦	主なことから
南北朝時代		城山に、上山氏によって上山城が築かれる
1600	慶長5	関ヶ原の戦い
1601	慶長6	島津家久が鹿児島(鶴丸)城の築城を始める
1604	慶長9	島津家久が内城から鹿児島城に移る
1606	慶長11	居館正面の板橋の渡り初め
1612	慶長17	御楼門の柱立
1639	寛永16	城内の屋敷の建て替え、石垣修復
1664	寛文4	鹿児島城南方の石垣2か所が崩壊
1696	元禄9	鹿児島城下で大火、城内に延焼し、本丸焼失
1707	宝永4	鹿児島城本丸再建工事終了
1773	安永2	藩校造士館・演武館が完成
1785	天明5	島津重豪、二ノ丸の整備拡大を始める
1791	寛政3	二ノ丸の庭園を含む大工事が完了
1810	文化7	御楼門前の板橋を石橋に架け替える
1843	天保14	御楼門の建て直し(1844年説有り)
1863	文久3	薩英戦争、本丸大奥二階や御楼門に被弾
1871	明治4	廃藩置県、熊本鎮台第二分営が置かれる
1872	明治5	明治天皇行幸
1873	明治6	鹿児島城本丸焼失
1877	明治10	西南戦争、二ノ丸焼失
1884	明治17	(県立)中学造士館設立
1901	明治34	(官営)第七高等学校造士館設立
1945	昭和20	空襲により校舎焼失、石垣の一部崩壊
1952	昭和27	鹿児島大学文学部焼失
1957	昭和32	鹿児島大学医学部鴨池より移転
1960	昭和35	石垣一部崩壊
1974	昭和49	鹿児島大学医学部宇宿へ移転
1978	昭和53	鹿児島城本丸発掘調査
1983	昭和58	黎明館開館
1999	平成11	御角櫓発掘調査、石垣修復
2014	平成26	鹿児島城発掘調査開始(～現在)



### ③ ていえんじょういこう おすみやぐら 庭園状遺構と御角櫓

明治5年に明治天皇が鹿児島を訪れた際に、城の内外で写真が撮影されました。城内の写真には池や滝、立石など配置された庭園が写されています。発掘調査の結果、立石がそのまま埋没した事や、玉石などが確認され、庭園の一部が残存している可能性が高いことがわかりました。御角櫓は建物外壁の2辺は石垣上に、残り2辺は直方体の切石を並べた礎石の上に建っていました。礎石の一部が残存している事などが確認されました。



### ④ おひょうぐしょ はりばんしょ 御兵具所と張番所

御兵具所とは武具類を保管していたと考えられる多間櫓です。昨年度に発掘調査と復元整備を実施し、御兵具所の礎石や周囲を巡る排水溝が復元されました。絵図には御兵具所の西側に御兵具奉行張番所が描かれています。昭和53・54年に発掘調査を実施し、礎石の根石が確認されています。今年度の調査でも根石が東側へ続いている事が確認されました。



# 鹿児島(鶴丸)城跡

ロープ等で仕切られた立入禁止の場所には入らないでください。滑りやすい場所等がありますので、移動の際は十分注意してください。

